

令和2年度 学校課題研究

☆今年度の研修について

テーマ

おもしろい授業の追究
 ～学年組織を生かした授業改善～

目的 学校・学年間での共有を目指すと共に、学年での教材研究をさらにより良いものにし、「おもしろい授業」を追求する。教師の授業力向上や児童の情意面での向上が期待できる。

教科等 教科・小テーマ等については学校全体で統一はしない。ただし、校内研修なので学年の小テーマ(目標)や簡単な視点・手立てについては設定をし、検証する。

共有 学年やブロック・ペア・全体など様々な形態で共有を行い、たくさんの授業案や考え方、方法などに触れられるようにする。

学年・本部 1～6年、ひまわり、本部の先生方は、「ホーム学年」を設定し、その学年の話し合いに参加したり、自分の教科の授業案を考えたりする。

☆研修の流れ

0 観察	○研究推進委員会で進捗状況を共有 ○学年で大まかな計画や児童の実態の観察などを行う。 例) ・わり算が苦手だから、教科は算数にしよう。 ・何か先行研究ないかな。	共有 異学年 ブロック ペア など
0 方向付け	○付けたい力を明確にする。 ○教科や単元を選び、授業の方向性を考える。 例) ・どんな力が付けばいいかな。(付けたい力の明確化) ・こんな授業してみたいな。	
D 決定	○学年での教材研究&授業案(視点、手立て、ポイント等)を作成する。 例) ・視点は思考力の向上がいいかな。 ・思考力を上げたいから、思考ツール(手立て1)を使おうかな。 ・学年で効果的な練り上げ(手立て2)について考えたいな。 ・深い学びになっているかな。	
A 行動	○授業案をもとに、実際に授業を行ってみる。	
F 振り返り	○授業を振り返り、成果や課題を明確にする。 ○全体での簡単な共有 → どんな授業を行い、 どんな成果が見られたか。	

☆以下のことは、行う予定です。

- ・全国学力・学習状況調査の分析
- ・さいたま市学習状況調査の分析
- ・教育の動向についてなどの資料紹介

☆12月に中間報告会、2月に実践報告会を行う。
 ☆1周ごとに簡単なまとめを行う。

